

魚の放流体験

① 船内で専門家から話を聞く。



びわ湖の生き物や暮らしについて話を聞き、魚を放流する目的を知る。

② 放流する魚を観察する。



班ごとに放流する魚を観察する。

③ 湖岸や甲板から放流する。



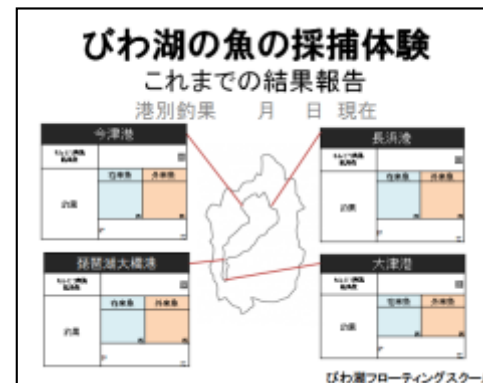
児童が安全に活動でき、放流した魚が生育しやすい場所で行う。
(湖岸での放流ができない場合は、1階甲板からの放流も可)

④ 他の活動と関連付けて学習する。



びわ湖学習の「魚の採捕体験」や「魚の観察」等と関連付けて、実際にとれる魚の種類や量からびわ湖の現状について考える。

- 湖岸で放流する場合は、寄港地活動の中で一斉に行うか、または、グループごとに分けて行う。
- 放流に適した場所（寄港地）や時期に実施できる航海を対象にする。
- 実施にあたっては事前の申し込みが必要となる。



びわ湖学習では、船内の学習パネルにあるグラフ（漁獲量の推移）や表（うみのこでの採捕結果）も活用するとよい。